

2) 「中南部都市圏駐留軍用地跡地の広域構想策定調査報告書（平成23年3月 中南部都市圏広域構想策定調査共同企業体）」、「中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想（平成25年1月 沖縄県 関係市町村）」によって示される対象地域のまちづくり全体の考え方及び緑化に対する整備方針

(中南部都市圏駐留軍用地跡地の広域構想策定調査報告書（平成23年3月 中南部都市圏広域構想策定調査共同企業体）より)

土地利用フレームの設定

土地利用フレーム設定の考え方 (優先順位)	土地利用のフレーム設定(キャンプ瑞慶覧を含む大規模地区: 200haでの設定)
1. 最優先に確保が必要な用地として「公園・緑地」を位置づける	・既存緑地の面積量を確保し、かつ、地区面積の20%以上、1人あたり30㎡以上となること

土地利用区分面積の試算 (キャンプ瑞慶覧: 493.9ha)

項目	内容			
整備コンセプト(案)	優れた居住環境と交通結節機能を活かした新生活環境都市			
都市機能等の整備方向(案)	<まちづくり・基盤整備の方向> ○水・緑・眺望を活かした癒されるまちの形成 <都市機能整備・産業導入の方向> ○自然・眺望などの優れた居住環境を活かした高質の居住機能の導入			
土地利用区分	面積 (ha)	割合	水準	備考
公園・緑地	98.8	20.0%	37.4㎡/人	・既存の緑地は68.5ha ・合意3地区の平均は15.8% ・瑞慶覧地区では、20%を想定

※合意3地区とは、①ライカム地区・ロウワープラザ地区等26.0ha、②喜舎場ハウジング地区6.0ha、③宜野湾市地区55.0ha

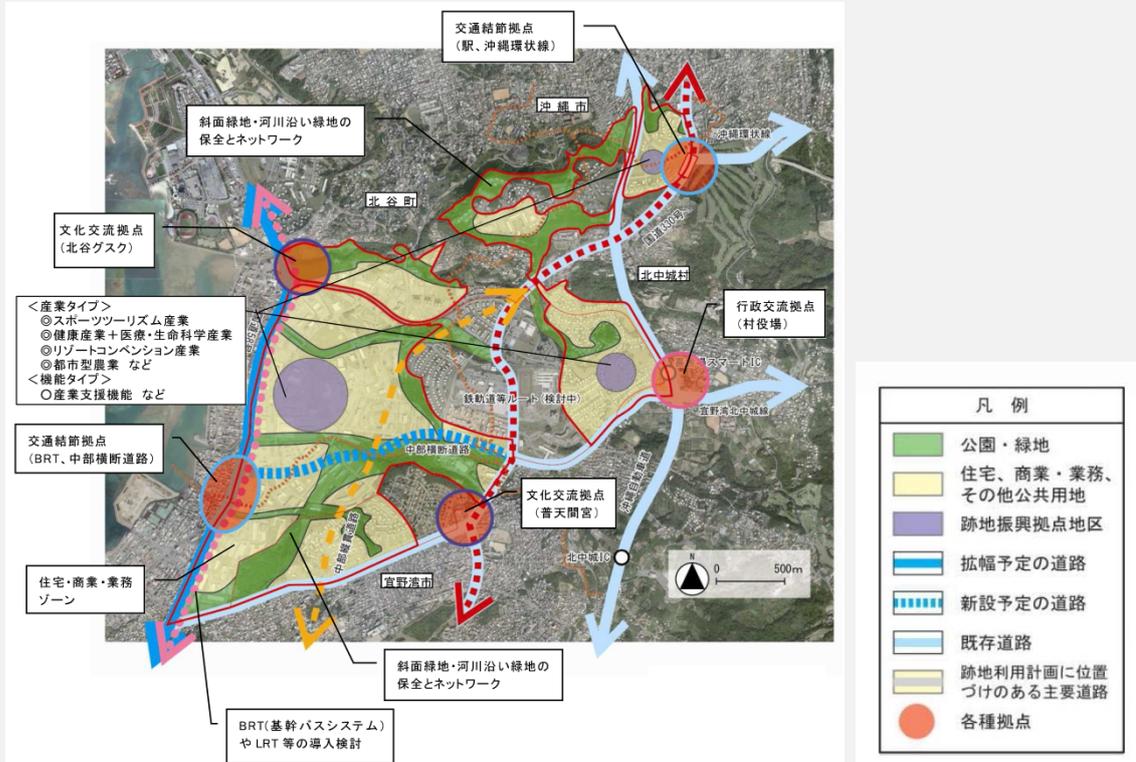


図2-20 キャンプ瑞慶覧における「緑地保全及び緑化の視点」の考え方<2>

#### (4) 水と緑に関わる要素の状況

緑地整備の方向性を検討するにあたっては、水や緑だけでなくそれに関連する要素についても状況を把握し分析する必要がある。

ここでは、緑地整備の方向性を検討するにあたって、関連する重要な要素として、地形、地質・水系、植生等、生活・文化等を取り上げ、状況把握を行った。

特質すべき特徴としては以下が挙げられる。

- 対象区域は、平地から丘陵地に広がり、標高差は約100m、複数の地質条件があり、また複数の河川が流れている。
- 自然度の高い植生や貴重な動物の生息域もあり、歴史文化資源も複数ある。
- 考慮すべき要素や資源が多種多様に存在する。

##### 1) 地形（標高・傾斜等）

当地区及びその周辺の地形（標高・傾斜等）の状況を把握した。

当地区における特徴は以下のとおり。

- ・東高西低の地形
- ・普天間川を中心軸とした扇状の地形
- ・台地に囲まれた空間
- ・地形により美しい海岸を眺める視点場が多い

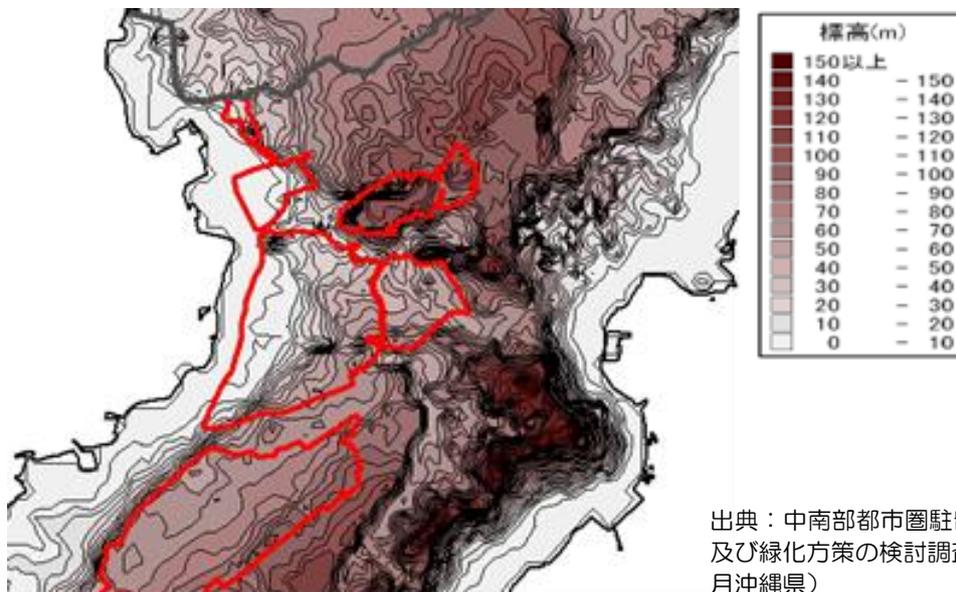
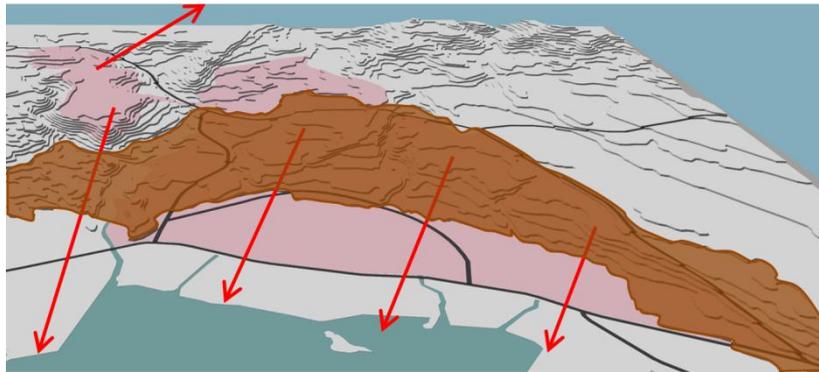


図2-21 キャンプ瑞慶覧及びその周辺の地形の状況< 1 標高>



低地から段丘上部の稜線へ至る開放的な地形となっており、段丘上部から海岸方向への眺望は優れている。(赤矢印)



段丘上部から海岸を望む眺望



段丘面から海岸への眺望

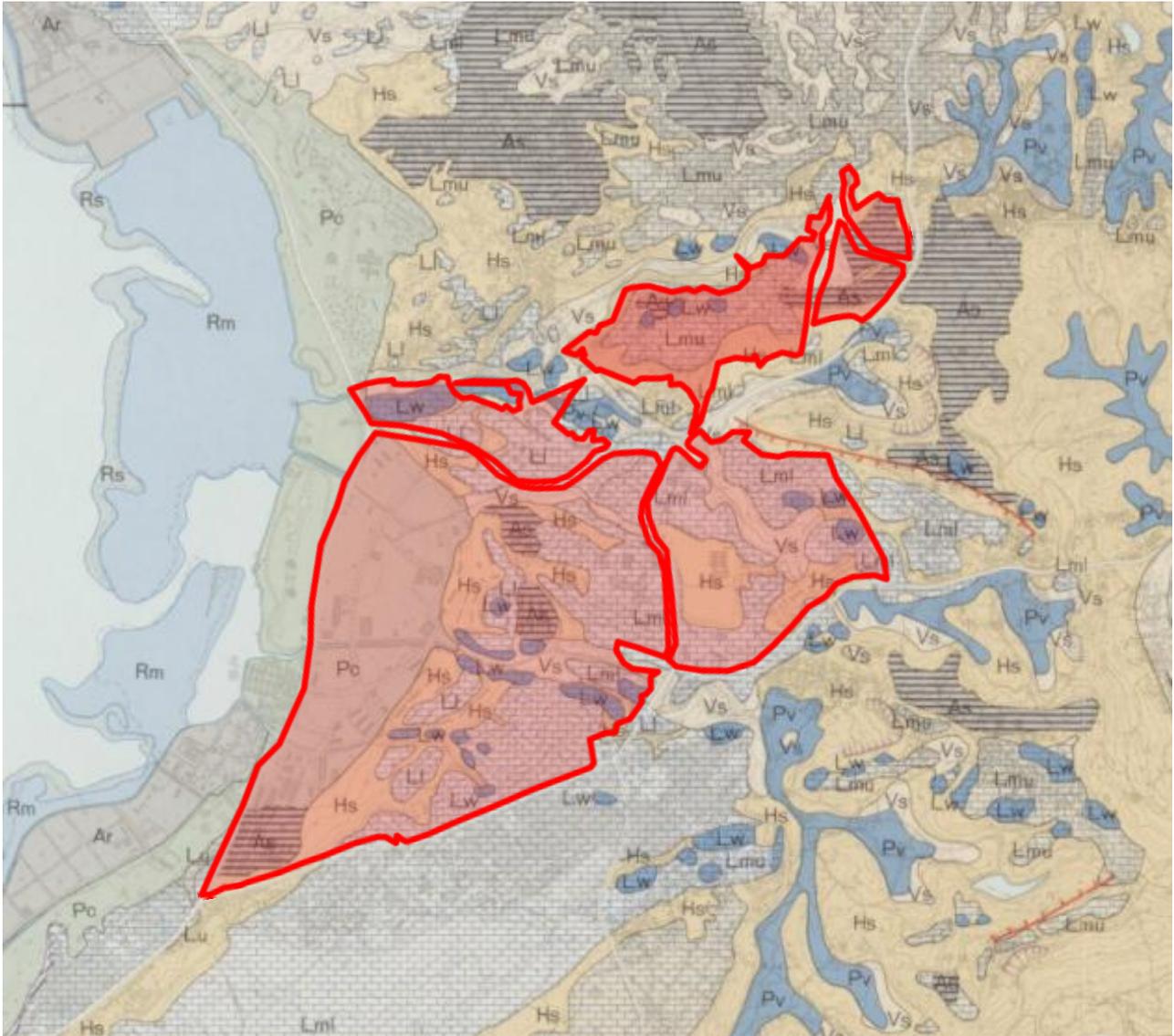


開放的な段丘面に建設された住宅地



・海岸から国道58号の沿道にかけて起伏のない低地があり、その周囲には、ひな壇状の段丘面が数段にわたり形成され、標高100mほどの稜線に至っている。

図2-22 キャンプ瑞慶覧及びその周辺の地形の状況<2 眺望>



凡 例



沖縄中南部 地形分類図 昭和56年調査  
(昭和58年3月発行 沖縄県)

図2-23 キャンプ瑞慶覧及びその周辺の地形の状況<3 地形分類>

## 2) 地質・水系等

当地区及びその周辺の地形（標高・傾斜等）の状況を把握した。

当地区における特徴は以下のとおり。

- ・ 4つの河川、湧水と地域内には水辺が豊富
- ・ 白比川には豊富な緑が存在。普天間川の低地部は人工的
- ・ 歴史、文化的な資源と重なる箇所も多い。
- ・ 海岸は沖積層が占め、段丘面の多くは琉球層群（琉球石灰岩）に占められているが、段丘上部には島尻層群が見られる。石灰岩層の縁には多くの湧水群がある。

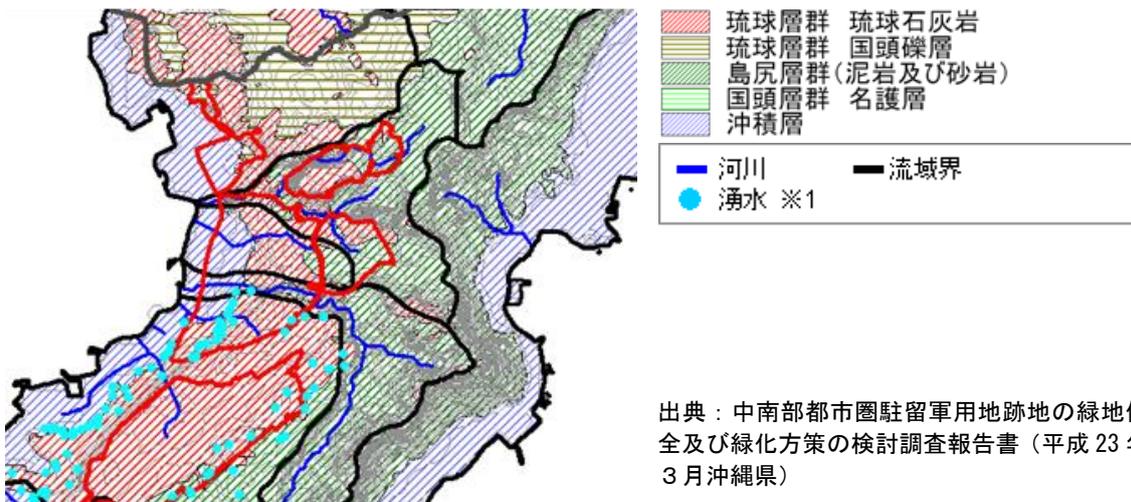


図2-24 キャンプ瑞慶覧及びその周辺の地質・水系等の状況<1>

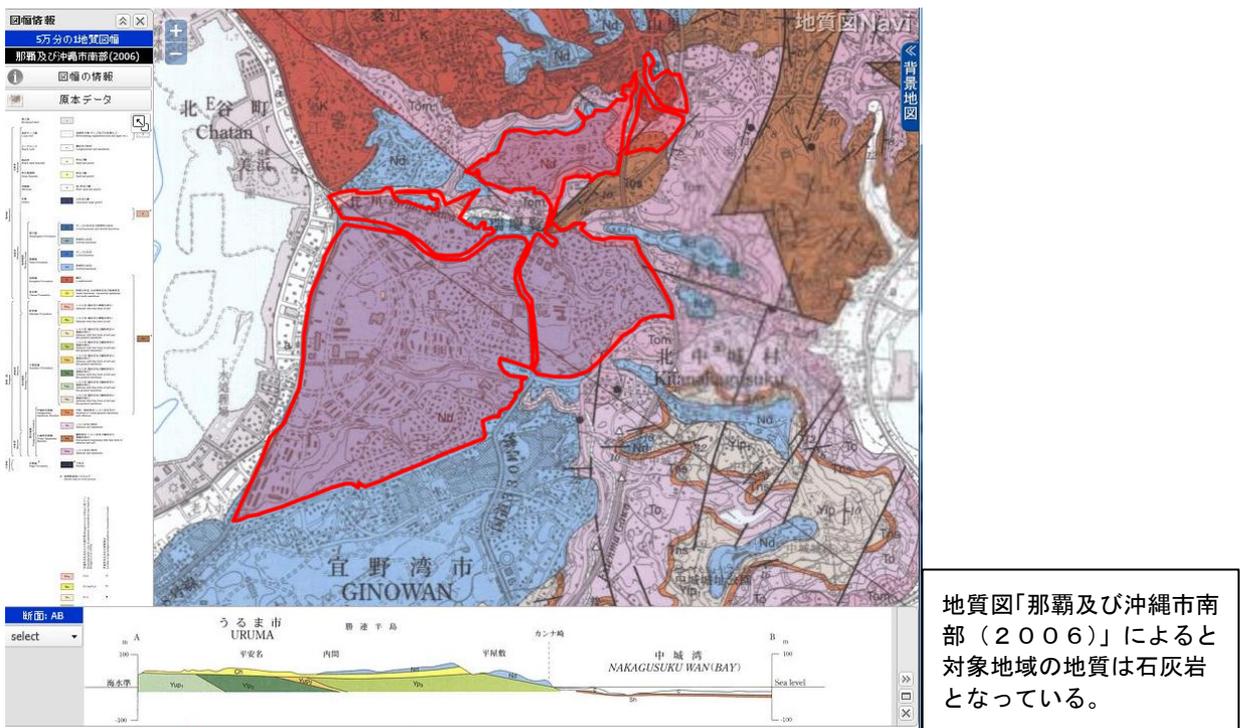
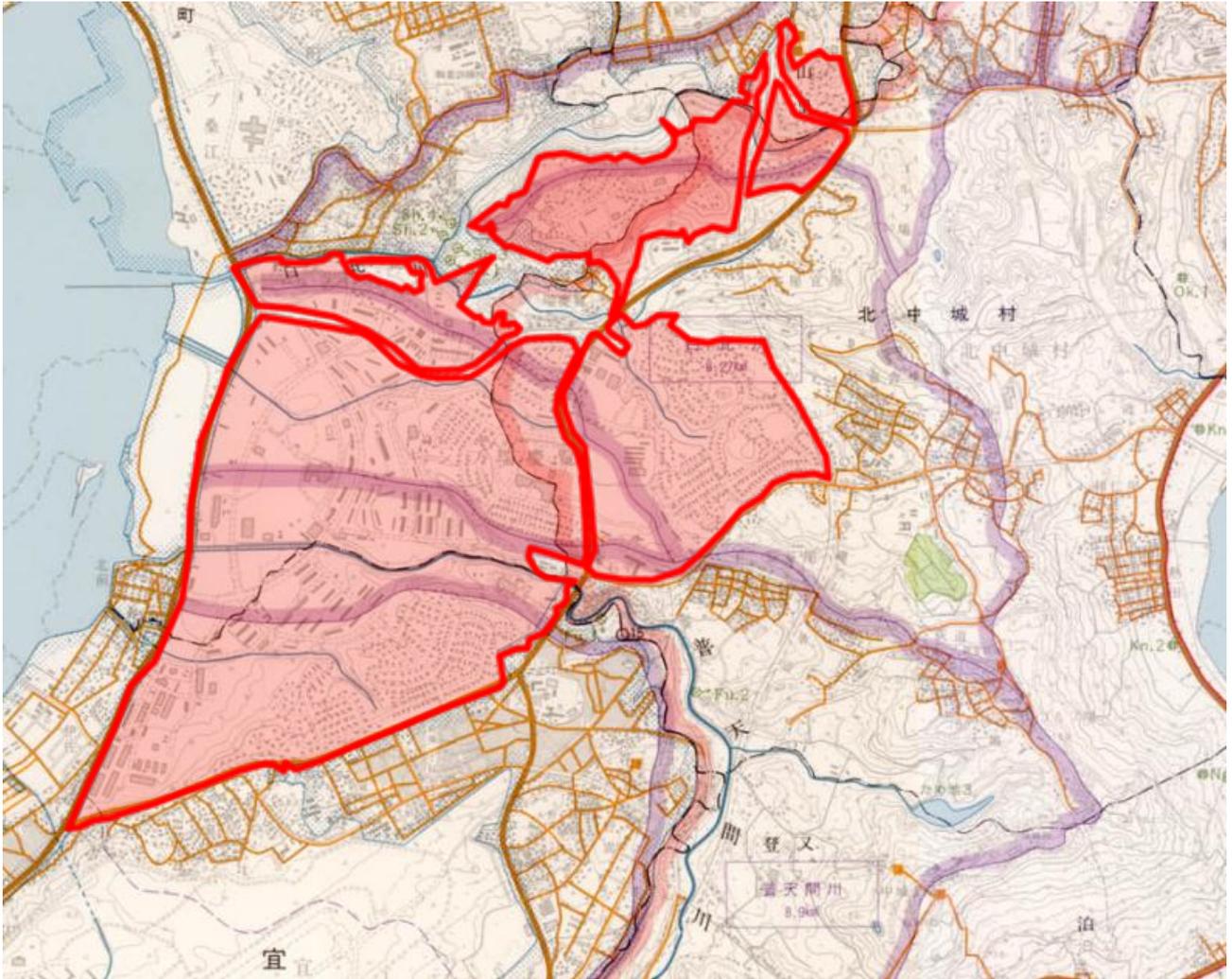
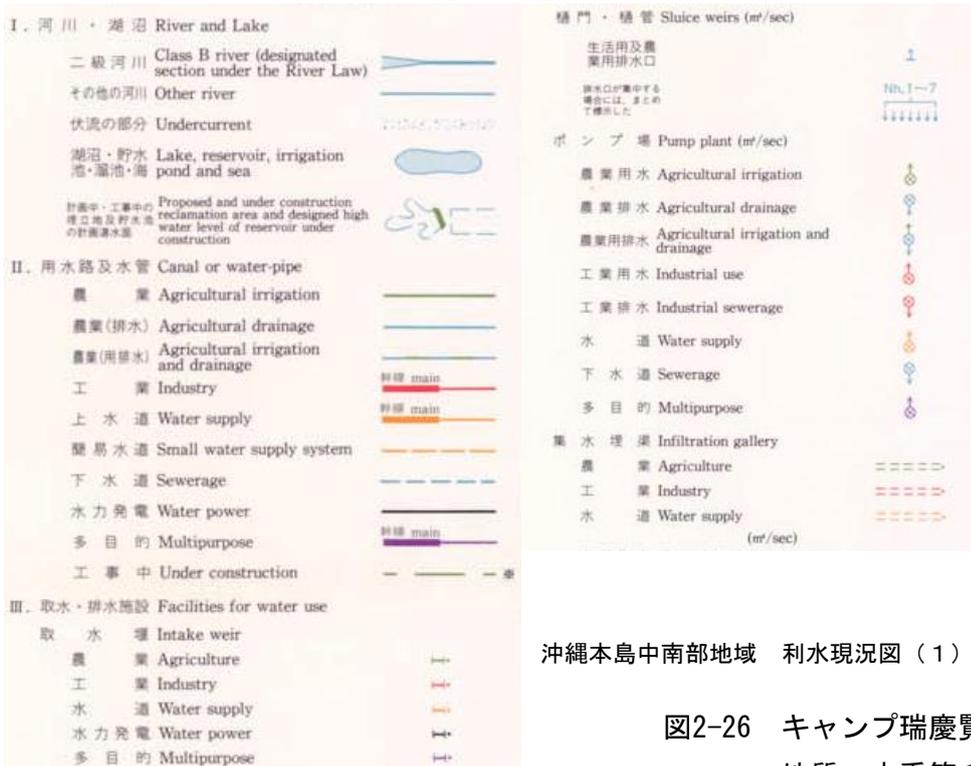


図2-25 キャンプ瑞慶覧及びその周辺の地質・水系等の状況<2>



凡 例



「沖縄本島中南部地域利水現況図」によると対象地域の水系は大きくわけ、二つの水系（白比川水系、普天間川水系）となることがわかる。  
また、地域内には白比川、普天間川と二つのその他河川（名称不明）の4つの河川が流れていることが確認できる。

沖縄本島中南部地域 利水現況図（1）（平成元年3月発行 沖縄県）

図2-26 キャンプ瑞慶覧及びその周辺の地質・水系等の状況<3>



当地区の中において先行返還地区となる西普天間住宅地区には、湧水・湧泉が豊富であり、文化的な資源として残っている。  
 写真（上）は航空写真。（右）は上より、ヤマガー、ヒーシャーガー、バシガー、ミーガー

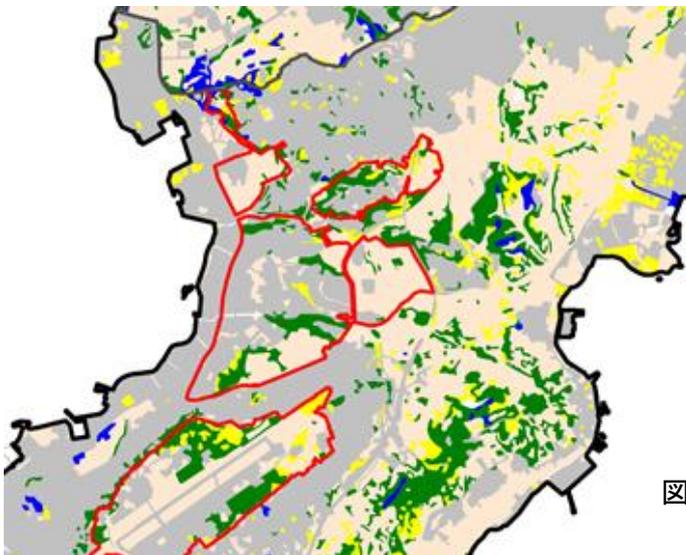
図2-27 西普天間住宅地区の湧水・湧泉

### 3) 植生等

当地区及びその周辺の植生等の状況を把握した。

当地区における特徴は以下のとおり。

- ・ 植生自然度が高い植生が河川沿いや湧水周辺、グスク周辺に存在
- ・ 普天満宮洞穴等貴重な動物の生息域
- ・ 対象地は土地利用により植生自然度が1～2 or 3 と低い場所が多くを占めるが、その一方でほぼ手つかずに自然が残っている場所も存在している。
- ・ 川沿い、稜線部は植生自然度 7or8 の高い自然度となっている。



植生自然度	
■	植生自然度1
■	植生自然度2or3
■	植生自然度4or5
■	植生自然度7or8
■	植生自然度9or10

出典：中南部都市圏駐留軍用地跡地の緑地保全及び緑化方策の検討調査報告書（平成 23 年3月沖縄県）

図 2-28 キャンプ瑞慶覧及びその周辺の植生の状況< 1 >

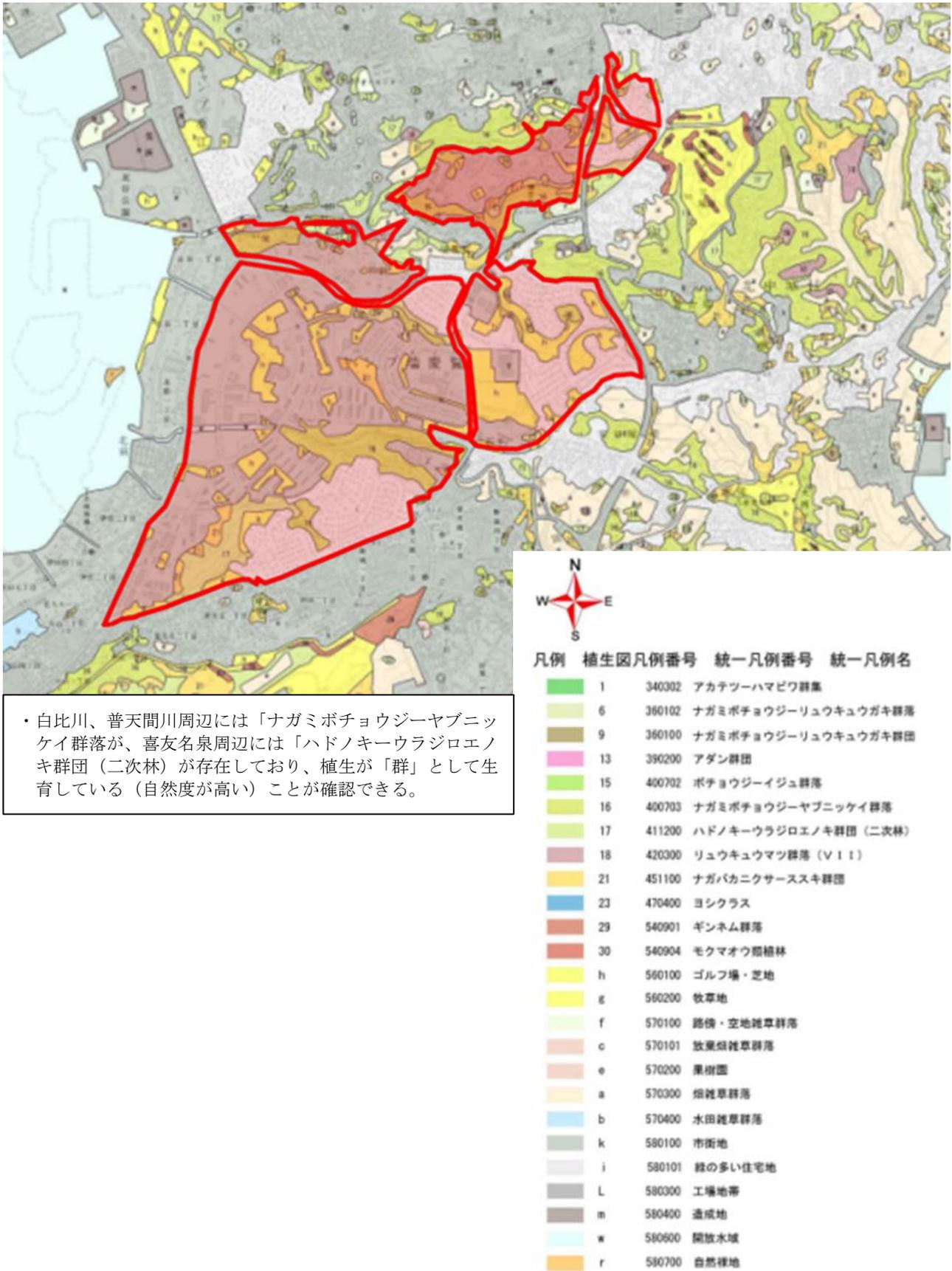


図2-29 キャンプ瑞慶覧及びその周辺の植生の状況<2>

4) 生活・文化等

当地区及びその周辺の生活・文化等の状況を把握した。

当地区においては、北谷グスク、御嶽、喜友名泉といった歴史文化資源があり、戦災前は集落が存在していた。

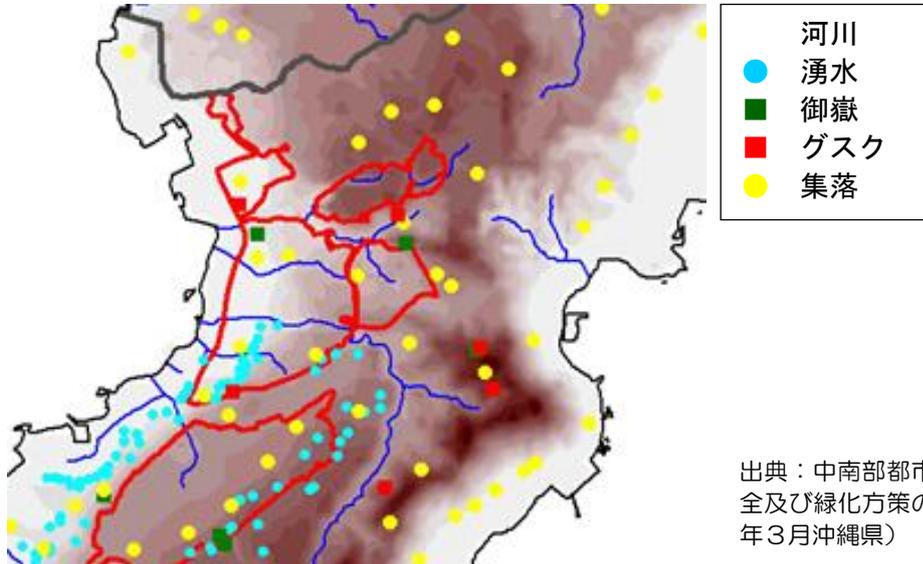


図2-30 キャンプ瑞慶覧及びその周辺の生活・文化等の状況< 1 >



図2-31 キャンプ瑞慶覧及びその周辺の生活・文化等の状況< 2 宜野湾市内の状況>



(5) 緑地整備を行う上でのエリア設定

これまでに整理した水と緑に関わる要素を重ね合わせ、特性によりエリア設定を行った。

当地区においては、地形の特徴などから、A. 低地部（国道 58 号沿道から西海岸のエリア）、B. 段丘斜面（北谷グスクから喜友名グスクを結ぶエリア）、C. 段丘上部（クラスター型の住宅の街区エリア）、D. 稜線部（中城など緑量の多いエリア）、R. 水路・河川・溪谷・湧水部（白比川・普天間川を軸としたエリア）に分けられ、更に B、R が重なり、重要な歴史・文化資源も存在する重要なエリアを抽出した。

<p><b>⑤ 景観：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地形により美しい海岸を眺める視点が 多い</li> <li>・水辺や歴史的景観も多い</li> </ul>
<p><b>④ 歴史・文化：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水と緑の重なり合う場所に古の生活の場 が存在</li> <li>※段丘斜面と低地部の境</li> </ul>
<p><b>③ 緑：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・段丘斜面下部の水が湧き出る場所と 河川空間に豊富な緑が存在</li> <li>・稜線部にも豊富な緑</li> </ul>
<p><b>② 水系・湧水：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4 つの河川・水路が東西に流れ台地 と海をつなぐ</li> <li>・段丘斜面下部に湧水・湧泉</li> </ul>
<p><b>① 地形：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東高西低の地形</li> <li>・普天間川を中心軸とした扇状の地形</li> <li>・台地に囲まれた空間</li> </ul>

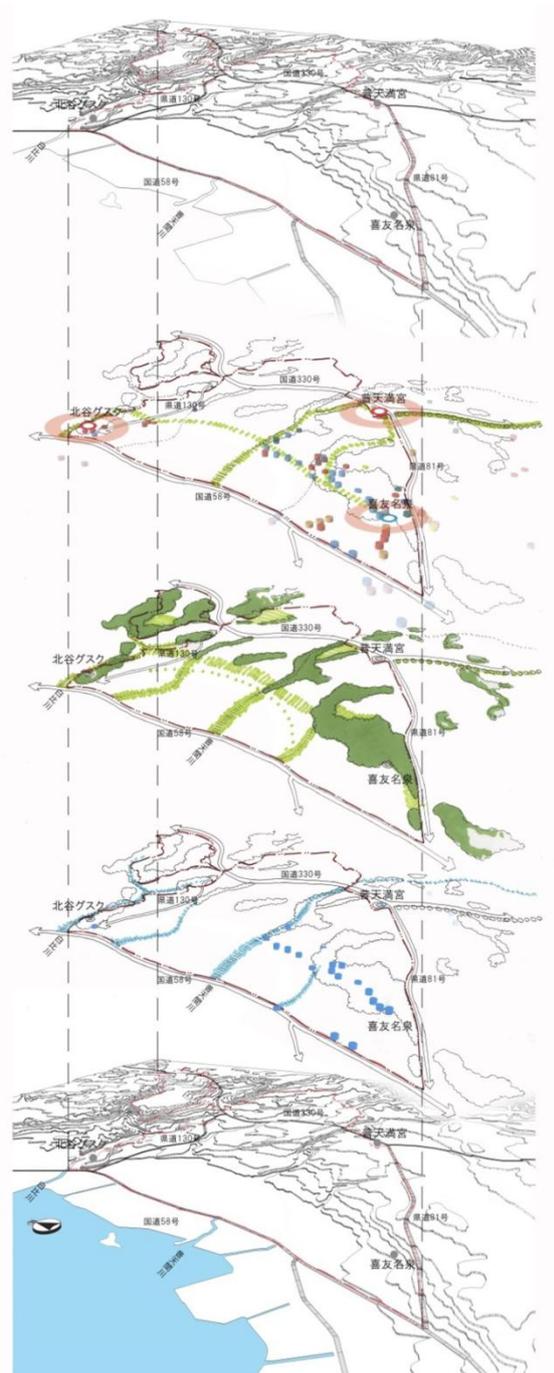


図 2-34 水と緑に関わる要素の重ね合わせ

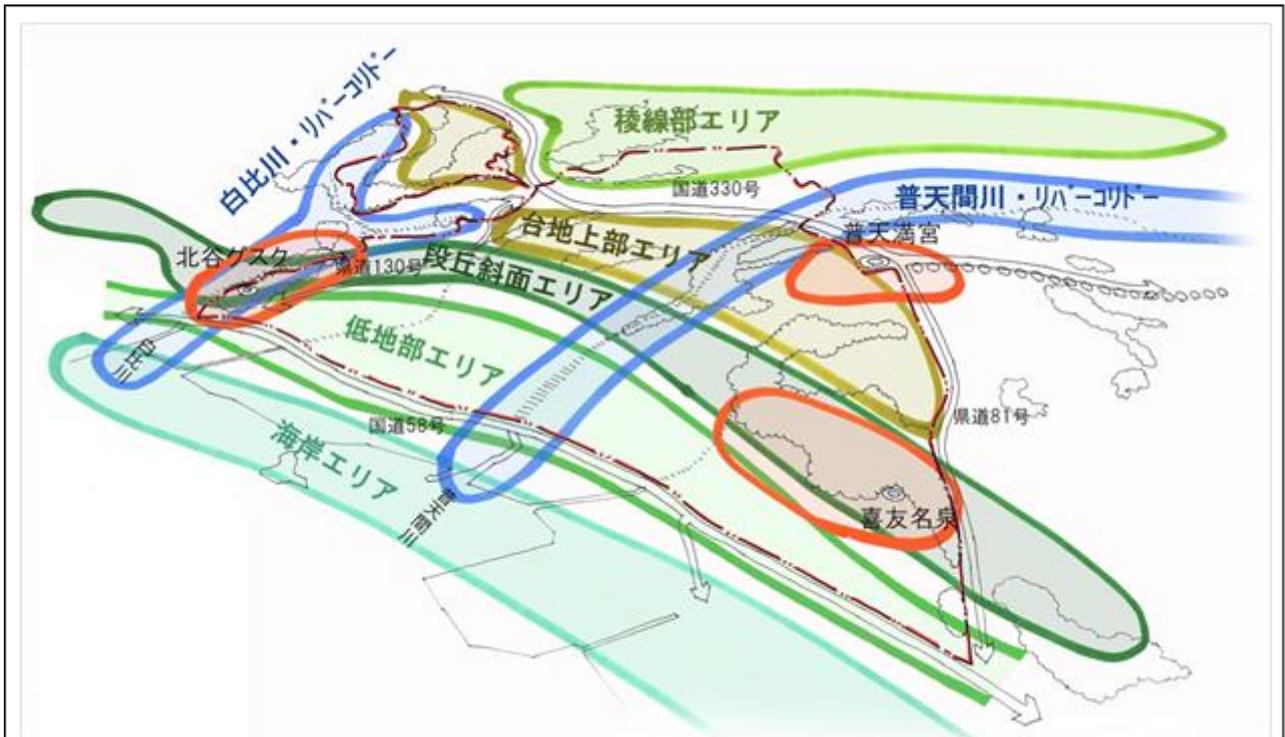


図 2-35 緑地整備を行う上でのエリア設定

表 2-1 緑地整備を行う上でのエリア設定

エリア区分	エリアの特性
低地部エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国道58号を中心として南北に伸びるエリア</li> <li>・ 自然度の高い植生は見られず一部で河川と交差</li> <li>・ 段丘斜面やその奥の稜線に囲まれた空間</li> </ul>
段丘斜面エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4つの川筋部分を中心として、南北方向に自然度の高い植生が断続的に見られる。</li> <li>・ 段丘斜面は、中南部都市圏全体で形成。普天間飛行場にも連続。</li> </ul>
台地上部エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然度の高い植生が見られる川筋と自然度の高くない平坦な台地（基地内の住宅地）が交互に連続する。</li> <li>・ 高台から見下ろす「西海岸」への開放的な景観が続く。</li> </ul>
稜線部エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沖縄本島の東西方向の中央に位置し、豊かな緑が形成。</li> <li>・ 西海岸、東海岸ともに眺めることのできるポイント（・ キャンプ瑞慶覧では対象箇所が少ない。）</li> </ul>
河川・水路・溪谷・湧水・湧泉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4つの河川、湧水・湧泉と地域内には水辺が豊富。</li> <li>・ 白比川には豊富な緑が存在。普天間川の低地部は人工的。</li> <li>・ 歴史、文化的な資源と重なる箇所も多い。</li> </ul>
複数の要素が重なる重要なエリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北谷グスク、喜友名泉、普天満宮では、水・緑・歴史・文化が重なる重要なエリア</li> </ul>